

神奈川イグレンの活動状況を伝える機関紙 <第179号>

神奈川イグレンニュース

発行：神奈川県異業種連携協議会（議長 金宥武正）
 発行責任者：専務理事 芝 忠 編集担当：宗和 正憲
 〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センタービル7F
 TEL 045-228-7331 FAX 045-228-7331 (TEL 兼用)
<http://www.kanagawa-iguren.com>

2017年10月号

【 今月のコンテンツ 】



- 神奈川イグレンご案内 1、2
- 「新事業・新技術支援フォーラム」（略称：戦略会議）レポート 3
- イグレン会員グループ・プロジェクト状況 4、5、6、7
- 産学官交流サロンコーナー／事務局コーナー 8

【 神奈川イグレンご案内 】

『 異業種交流・連携で切り拓く新たな挑戦 』とした第2回イグレン事例発表会を以下の日程にて行います。神奈川イグレンが推進する「異業種交流・連携」による新規事業化事例の発表会、販路開拓から公的補助金獲得、グループの運営など多彩。時代の変化の中で、異業種との出会いを活用して、新たな挑戦をする方々を紹介しますので皆様お越しく下さい。詳細につきましては別紙冊子をご覧ください。

【日 時】：2017年11月1日(水)

【会 場】：神奈川中小企業センター(中区尾上町5-80)6F 大研修室 15:00～18:00

【参加費】：資料代 1,000円 (イグレン会員500円) 定員40名

※申し込み先:神奈川県異業種連携協議会(イグレン) 045-228-7331(Tel/Fax)

理論機関誌「イグレン」第6号論文原稿募集

現在、機関誌イグレン第6号の論文を募集しています。募集論文の内容は下記のような日頃の活動内容で構いません。また、表紙に使用するイグレンの活動に関連する写真も同時に募集します。

- ① イグレン活動の報告と紹介
- ② 異業種交流・連携の理論化
- ③ 自身の体験の紹介、など
- ④ そこから学ぶこと(経験の整理)
- ⑤ 中小企業を取り巻く情勢の紹介と自己の意見

第6号発行は、2018年1月4日の予定です。原稿の締め切りは、2017年12月15日です。募集論文に関するご質問は、芝専務理事、又は、編集担当加藤へご連絡ください。

イグレン「テクニカルショウヨコハマ2018」に出展!

～会社案内・カタログ・チラシ募集～

「テクニカルショウヨコハマ2018」は、来年2月7日(水)、8日(木)、9日(金)の3日間、パシフィコ横浜展示ホールで開催されます。イグレンでは、出展することを決めて準備を進めています。その一つに、会員の方々の会社案内・カタログ・チラシの配布を計画しています。申し込み企業等からお預かりした会社案内・カタログ・チラシを来場者にお配りして宣伝に努めようという計画です。是非、ご利用ください。募集要領は次の通りです。

【募集要領】

1. 募集内容：会社案内・カタログ・チラシのいずれか1種類または2種類
2. 出展部数：各300部(枚)
3. 出展費用：1種類につき5,000円
4. 申込期限：11月15日(水)
5. その他：(1)会社案内・カタログ・チラシの大きさはA4サイズ。

会社案内・カタログについては10ページ以内。

(2)資料の搬入期限は2018年1月15日(月)。

【申込・問い合わせ先】 神奈川県異業種連携協議会(略称:イグレン)

電話/FAX 045-228-7331

担当：芝、織方、松井

※申込の方法：企業名、代表者名、電話番号、配布資料名をFAXでご連絡ください。
申込まれた方には後日、搬入方法、代金振込み先等をご連絡します。

「テクニカルショウヨコハマ2018」の詳細は別紙(添付)をご覧ください。

【訃報】

(株)開明製作所会長 石館治良氏がさる8月21日にお亡くなりになりました。66才、まだ十分お若く、ますますの活動が期待されていたのに、残念です。イグレンでは「中小企業政策研究会」会長として、発足当時(平成11年(1999))から長く勤められ、中小企業振興条例づくりや、その時々々の国の中小企業政策の勉強会を主宰し、国の担当官をお招きして、イグレンとしての独自の研究会としての地歩を占めていました。

会社は当時、相鉄線星川駅の近傍にあり、電車の振動をものともせず、「超精密切削加工技術」で頑張っていました。会社のホームページにそのキーワードを掲載し、全国から注文を受けていました。「超」の加工技術を持っているのなら、「普通のバルの加工も安全だ」という信頼がありましたし、海上自衛隊の特殊な部品の相談にもなっていました。自ら、工場の現場に入り、機械加工するのが好きだったようです。

個人的には、車が好きで、私も何回もお供をして真鶴や箱根を走り回った思い出があります。イグレン活動をいつも暖かくみていただき、私も大変激励されて感謝です。ご冥福をお祈りいたします。

合掌

神奈川県異業種連携協議会専務理事 芝忠

「新事業・新技術支援フォーラム」(略称：戦略会議)レポートのご案内

イグレン事務局 松井利夫

第54回フォーラムは平成29年9月22日に開催。初めに、森さんから「有機水耕栽培」について説明がありました。今回は、「微生物を活用した有機野菜づくりでの地域活性化の取組み」の説明でした。微生物を活用した有機肥料による水耕栽培は、土の中にいる微生物(亜硝酸菌、硝酸菌)を水の中に移植する工程と有期肥料で栽培する工程があります。栽培の際、三大栄養素(N,P,K)の施肥と微量元素(ミネラル)の施肥を行います。事業化における有機水耕栽培の位置付けですが、商品としての野菜作り(野菜工場市場)と趣味としての野菜作り(貸菜園市場)があります。いずれも、人工光利用型(屋内)と水耕(屋内)の違いがあり、屋内の水耕に有効な栽培方法が「有機水耕栽培」です。「有機水耕栽培」は天候不順の影響を受けないことや、体力のない障害者、高齢者に優しい環境での作業です。

次に、「有機水耕栽培」に関する事例が紹介されました。事例1は、屋内貸菜園(自動車会社へ提案)です。これは、自動車の販売店に「屋内貸菜園」(サロンコーナー併設)を設置して、来店する顧客に興味を持って頂いて販売促進に役立てることが目的です。事例2は、有機野菜工場システム(M地所へ提案)です。これは、空き家・空き店舗などの資産を有効活用することと、産業廃棄物から生成した有機肥料の活用を目的とした「有機野菜工場システム」提案です。

次に、鶴野さんからスターリングエンジンの進展と日本スターリングエンジン普及協会の課題について説明がありました。10月20日に開催する第11回スターリングエンジン講演会は、歴史上初ともいべき実用エンジン“Qnergy PCK80”をテーマに企画された講演会であるとの説明がありました。Qnergy エンジンフリーピストンであるが故にメンテナンスフリー、かつ操作は簡単で、誰にでも使えるエンジンですが、加熱部の表面積が出力に対して小さくバイオマス燃料とする場合は性能が出しにくい難点があるとのことでした。(注：詳しくは議事録参照方)

次は荒川さんから「危険通報通信システム」(PCL)のチラシが出来て販売開始の準備中であるとの説明があり、伊藤さんからは、警報機器の販売状況等の説明がありました。石川さんからは「非破壊調査システム」の仕事について説明がありました。

イグレン会員グループ・プロジェクト状況

異業種交流会シフト21 [【http://shift21.jimdo.com/】](http://shift21.jimdo.com/)

有村 知里

貧困、待機児童…将来を担う子供を取り巻く社会的課題

私たちができる支援とは

<2017年11月定例会>

- 日時 2017年11月14日(火) 18:30~20:15 懇親会 20:30~22:00
- 場所 ビジネス&コミュニティ 横浜駅前オフィス セミナールーム
横浜市神奈川区鶴屋町2-21-1 ダイヤビル303
- プログラム

講演：横浜市の子ども青少年施策について

横浜市では、未来を創る子ども・青少年の一人ひとりが、自分の良さや可能性を發揮し、豊かで幸せな生き方を切り拓く力、共に温かい社会をつくり出していく力を育むことができるまち「よこはま」を目指しています。横浜市のこども青少年施策を知るとともに、社会全体での支援について考えてみませんか？



<沢根孝佳社長様と一緒に>



<工場内見学の様子>

◆ 視察研修会のメリット ◆

当会の視察研修会は 2008 年に始まり、11 回ほど実施してまいりました。毎回、優れた企業を訪問し、また近隣のスポット、食や文化についても豊かに学ぶ、充実した 2 日間を過ごしています。

当会の 1 泊 2 日のバスで行く視察研修会には次のようなメリットがあります。

- 1) お客様に支持され、社員が生き活きと働いている優良企業の視察を通じて、自社の事業に活かす
- 2) 個人では訪問が難しい企業、お会いすることが難しい経営者でも、グループであれば視察が可能であり、社長様の生の声を直接聴くことができる
- 3) 複数の視点で見て、意見交換することで理解が一層深まる
- 4) 車中での交流により相互の親近感が高まりネットワークが広がる

視察研修会が好評のため、既に来年 9 月の研修会の企画も検討しております。来年はぜひ一緒にいたしましょう！



【NPO 法人 C & S 経営支援協会】

理事長 松井利夫

「起業支援講座」を開催します！

11月4日(土)と11月11日(土)の両日、「起業支援講座」を開催します。「起業支援講座」は、横浜市経済局、日本政策金融公庫、横浜信用金庫の後援並びにイグレンの協賛を得て、商業・サービス業の起業・創業を目指す方を対象に事業計画書の作成方法や創業体験談、起業に役立つ経営の基礎知識を説明します。この機会に起業・創業を目指す方は、是非出席くださいますようご案内いたします。

- (1) 開催日時：平成29年11月4日(土)と11月11日(土) 13:00~17:00
- (2) 会場：横浜市技能文化会館 8階 視聴覚研修室
- (3) 受講料：3000円(第1日目/第2日目 各1500円)
- (4) 定員：15名(先着順)
- (5) 講座内容：第1日目 ①「事業計画の作り方と資金調達」
②「5W2Hで練り込む収支計画」
第2日目 ①「創業体験談」
②「経営に必要な知識・ノウハウ」
- (6) 講師：日本政策金融公庫 南関東創業支援センター 寺田所長、
「助産院バースあおば」柳沢代表、中小企業診断士
詳しくは、別紙「起業支援講座」開催案内(チラシ)をご覧ください。

【第187回 日韓ビジネス協議会】

高橋 導徳

1. 日時：2017年10月25日(水) 午後3時30分~5時15分 協議会 ~6時15分 交流会
2. 場所：神奈川中小企業センタービル 6階 特別研修室
かながわ異業種交流センター(神奈川県異業種連携協議会) TEL: 045-228-7331
3. 次第：会長挨拶・・・・・・瀧澤 清氏
 - ◆ 日本の米・韓国の米について・・・・日韓産業技術協力財団 元常務理事 山崎 弘氏
日本も韓国も主食はコメであり、コメの料理はそれぞれの国の食習慣により多彩である。
また欧米では米食が見直されている。コメの歴史をたどり、コメの種類、銘柄、コメとくらし、コメ料理について紹介する。
 - ◆ 釜山の溶融メッキの企業の技術相談の為の訪韓報告
プラスアルファー 所長 月岡泰夫氏
 - メイン講師 コリアマーケティング 特別顧問 辻 和昭氏
タイトル：「イスラムの社会・文化に接してきて」
要旨：中東バハレーンに5年(1990~1994)、またインドネシアに5年(1999~2004)企業の駐在員として、イスラムの社会や文化に接して来ました。
その間のイスラム社会ならではの体験やエピソードを、韓国との接点も交えお話しさせていただきます。

【 川崎異業種研究会 】

川崎商工会議所 桂 千香

＜ 7月定例会＞

7月13日（木）、7月定例会（暑気払い）を開催した。午後6時、昼間の熱気が残る中、会員22名とオブザーバー3名が集まった。会場は、幸区の住宅街にある老舗「都鮨」。刺身から鮎、キンキの煮つけ等々、洗練された美味の数々に舌鼓を打ちながら会は和やかに進んだ。総勢25名がひとつのテーブルを囲み、創設期からのメンバーと新しいメンバーが共に語り親睦を深めた。途中、都鮨の大将が部屋を真っ暗にし、ひれ酒に着火するというパフォーマンスを披露してくれた。闇に青い火が浮かび上がると、場はいっきに盛り上がった。



活気に満ちた暑気払いでした！

菅原会長からは、10月の国内視察会（広島）の詳しい内容説明があり参加を促した。護衛艦「かが」への乗船視察は貴重な体験の機会であり、皆の興味を引いた。また会の中頃には、各会員の1分間スピーチを行い、事業やプライベートの近況報告や今後の抱負が語られ、会員同志の距離が縮まった。中締めは、野見山副会長が務め、皆で力強い関東一本締で、盛会裏のうちに散会となった。猛暑を吹き飛ばす、実にエネルギー溢る暑気払いであった。



＜ 7月分科会＞

7月6日（木）、午後6時30分より中原市民館第3、4会議室にて開催した。会員5名、和光大学生8名の参加を得た。

今回は、「川崎市産業振興財団の取り組みについて」というテーマで、公益財団法人川崎市産業振興財団 産業支援部 新産業振興課長 山関章司氏を講師に迎えた。

中小企業を支援する同団の活動について、また人材育成についてお話いただき、一同興味深く耳を傾けた。その後の懇親会では、さらに詳しく話を伺い有意義な分科会となった。



	尾上町サロン	西湘サロン 第71回	海老名サロン 第42回	三浦半島経済人サロン 第79回
日程	12月01日(金) 18:00~20:30	11月14日(火) 18:00~20:00 開場は17:30~	11月24日(金) 15:00~	11月21日(火) 18:00~ 開場は17:30~
場所	神奈川中小企業センター703 イグレン事務局	おだわら市民交流センターUMECO 小田原市栄町一丁目1番27号	神奈川中小企業センター6階 大修室 横浜市中区尾上町5-80	神奈川新聞社 横須賀支社5階会議室 横須賀市小川町21-9
連絡先	イグレン(芝)	イグレン(吉池)	愛賢司	堀込、芝、鶴野、西澤
内容	自由に語らう 交流 参加費:1,000円	「芦ノ湖の水をめぐる歴史と箱根用水」 箱根町教育委員会生涯学習課 高橋 秀和 様 参加費:1,000円	「アメリカ経済の現状」 昭和女子大教授、コーポレートチーフソープ 取締役 今井 章子 氏 参加費:2,000円	「観光客を対象とした伝統技術体験と観光土産品販売事業」三富染物店7代目三富 由貴氏 参加費:1,000円

皆さんこんにちは。ようやく暑かった季節もこれでどうやら終わりの様です。この先、しばらくはぐずついた気候で推移した後グッと寒くなってきそうです。電車に乗っているとチラホラと咳こんでいる方も出てきていますので皆様ご注意ください。早いもので年末まであと2か月とちょっと。なぜこんなに一年が早いのだろうかといつも感じてしまいます。年末も迫っていることもあって、最近断捨離にはまっています。物がなければ無いで意外と不便でもなくそれが習慣になってくるとなるとなくなります。今まで物に溢れた生活をしていたので断捨離は丁度良かったと思います。皆さんのご自宅はいらぬものに囲まれていませんか？一年間で一度も使わなかったものはいらぬに等しいようです。これを機会に断捨離をしてみたいかがでしょうか？

「神奈川イグレンニュース」は多くの皆様方からのご意見や投稿、感想などを頂戴し、情報を共有する事によって未来へつながる「役立ち情報誌」です。こんなことが新たなビジネスにつながった。とか、思いもしなかった出会いでこんな事になりました・・・など原稿を募集中です。

伺える範囲であれば取材にも参ります。尚、自薦・他薦は問いませんのでご連絡頂ければと思います。神奈川イグレンへの連絡問合せは、Tel: 045-228-7331 Fax: 045-228-7331 (TEL 兼用) ご意見、感想などあればこちらまでお願いします。 mail masa247307-sowa@dream.bbexcite.jp



神奈川県異業種連携協議会 交流アドバイザーが詰めております、気軽にご連絡ご相談ください(無料)

【月】①②③宮川 豊④⑤荒 直孝【火】①②④⑤児玉 英二③愛賢司 【水】①菊地②指方③加藤④愛⑤芝

【木】①②③④⑤ 松井 利夫【金】①愛賢司②指方 順一郎③④⑤織方 【土、日、祭日】は休業

〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センタービル7階インキュベートルーム703号
神奈川イグレン事務局

T/F 045-228-7331 URL: <http://www.kanagawa-iguren.com> Mail: iguren@kanagawa-iguren.com